

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

| | | | | | | | | |
|--|--|----------|-----------------|---|------|---------|--------|-------------|
| 事業名 | ICTグリーンイノベーション推進事業 | | 担当部局庁 | 情報通信国際戦略局 | | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成21年度～平成23年度 | | 担当課室 | 技術政策課 | | 課長 田中 宏 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 総務省設置法第4条第75号 | | 関係する計画、通知等 | 第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 国の研究開発評価に関する大綱的指針(平成20年10月内閣総理大臣決定) | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内) | 我が国は、2012年に1990年比6%削減を国際公約するとともに、2020年に25%削減を目標とすべく世界の枠組み作りに寄与している。このような背景から、地球温暖化対策に大きな貢献が見込まれるICTのシーズ創出を、京都議定書第1約束期間中に集中して促進し、CO2の大幅な排出削減を実現する。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以 内。別添可) | 企業・大学等からテーマを公募し、外部評価委員による審査により競争ベースで優良な実施案件を決定し京都議定書第1約束期間中に集中して技術開発を実施。年度毎に委託先に研究成果報告を求め、外部評価委員により研究継続の可否を審査し、最長3年間の研究開発を行う。 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | |
| | | 補正予算 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 繰越し等 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 計 | 390 | 566 | 868 | 0 | 0 | |
| | 執行額 | 356 | 511 | 836 | | | | |
| | 執行率(%) | 91.3% | 90.3% | 96.3% | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 成果実績 | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (年度) |
| | CO2排出削減、省エネルギー化に貢献する情報通信技術(ICT)分野のイノベーションを創出し、研究開発を促進していくことを目的とした競争的資金制度であるため、活動状況を示す目標となるものを設定していない。 | | | | — | — | — | — |
| | 達成度 | | % | — | — | — | | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 活動実績 (当初見込み) | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | ①論文発表数 | | | 件 | 15 | 38 | 78 | — |
| | ②特許出願数 | | | 件 | 2 | 20 | 36 | — |
| 単位当たり コスト | ①論文1件あたり 11百万円 ②特許出願1件あたり 23百万円 | | 算出根拠 | 平成23年度の研究開発額を、平成23年度のそれぞれのアウトプットの数(①、②)で除して算出。 | | | | |
| 平成24・25年度 予算 内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | | | | 平成23年度で戦略的情報通信研究開発推進制度と統合し、継続事業分を引き継ぎ。 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|--|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | CO2の大幅な排出削減を実現するICT分野のイノベーションを創出するには資金や英知を緊急かつ大規模に注力することが必要不可欠であるが、緊急かつ長期的展望に沿った技術開発を推進していくことは民間には大きなリスクが伴うと共に、短期的に直接の利益につながらないため、国が実施すべき事業と認められる。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・使途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | 研究開発の実施にあたっては、広く公募を行い、外部専門家・外部有識者から構成され評価委員会において外部評価を実施し、優れた提案を採択する企画競争方式を採用しており、その競争性を担保している。また、委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行い、あわせて経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼して、専門的知見も活用しながら経費の執行の効率性・適正性を確保することとしている。 |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | — | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 研究開発委託先の選定にあたっては、公募を行い、外部専門家からなる評価委員会において評価を行う。また、毎年度、研究開発の実施状況及び次年度の実施計画を同委員会において評価し、引き続き研究開発を実施することの妥当性を判断しており、他の手段と比較して有効性が高いと考えられる。また、委託期間終了後の終了評価、追跡評価等によって研究成果のフォローアップを行う。 |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | <p>① 平成21年度からスタートした本制度について競争的資金制度の合理化を図るため、平成24年度から戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)に本制度を統合。</p> <p>② 競争的資金に関する関係府省連絡会における申し合わせを踏まえ、「競争的研究資金の統一的な使用ルール等の統一化及び簡素化・合理化」について検討し、費目構成の統一化を実施。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 一部改善 | 統合した「戦略的情報通信研究開発推進制度」の中で、更なる経費の効率化を図るべき | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| 執行等改善 | 指摘を踏まえ、統合した制度の中で要求項目の精査を行い、更なる経費の効率化を行った。また、選考評価において経費の妥当性についてさらに精査する等、経費の効率化を実施。 | | |
| 補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | 0036 | 平成23年行政事業レビュー | 0048 |

※平成23年度実績を記入

総務省
836百万円

〔 制度全般の管理、研究開発課題の公募、契約、研究開発の進捗管理、委託先に対する経理検査等 〕

※金額は四捨五入

【公募・委託】

A 大学・民間企業(39機関)
825百万円

〔 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書にもとづく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出等 〕

B 外部委員(65名)
2百万円

〔 書面評価の実施、評価委員会の出席等 〕

【一般競争入札】

C (株)インターナショナルランゲージ
アンドカルチャーセンター
6百万円

〔 PD・PO会議の運営、課題の管理、公募の受付支援、評価委員会の運営等 〕

【一般競争入札】

D 新日本有限責任監査法人
0.6百万円

〔 事前経理検査の内容を踏まえた実績報告書の経理検査、不適切な執行実績の指摘、検査報告書の作成 〕

【一般競争入札】

E 優成監査法人
2百万円

〔 実績報告書(案)に基づく実地での事前経理検査、不適切な執行実績の指摘、検査報告書の作成 〕

F 総務省職員
0.02百万円

〔 運営に係る職員旅費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記
 載)

| A.(株)横須賀テレコムリサーチパーク | | | E.優成監査法人 | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------|----------|---|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 研究員費、研究補助員費 | 49 | 人件費 | 実績報告書(案)に基づく実地事前経理検査、不適切な執行実績指摘、検査報告書作成 | 1.6 |
| 物品費 | 委託研究業務の遂行に必要な物品の製作、購入等 | 7 | 旅費 | 実地検査等のため | 0.3 |
| その他経費 | 委託研究業務の遂行に必要な旅費・交通費、学会参加費、図書資料購入 | 3 | 一般管理費 | 事前準備、書類整理、事務連絡等 | 0.1 |
| 間接経費 | 管理部門に係る経費、研究部門に係る経費 | 18 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 77 | 計 | | 2.0 |
| B.個人A(外部委員) | | | F.総務省職員 | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 謝金 | 評価に係る謝金 | 0.10 | 旅費 | 運営に係る旅費 | 0.02 |
| 旅費 | 評価に係る旅費 | 0.06 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0.16 | 計 | | 0.02 |
| C.(株)インターナショナルランゲージアンドカルチャーセンター | | | G. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 人件費 | 3.5 | | | |
| 物件費 | 印刷製本費、機器リース費等 | 1.5 | | | |
| 一般管理費 | 事前準備、書類整理、事務連絡等 | 1.0 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 6.0 | 計 | | 0 |
| D.新日本有限責任監査法人 | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 実績報告書の経理検査、不適切な執行実績指摘、検査報告書作成 | 0.6 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0.6 | 計 | | 0 |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|--------------------|---|--------------|-------|-----|
| 1 | 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 77 | 公募・委託 | - |
| 2 | 学校法人慶應義塾 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 72 | 公募・委託 | - |
| 3 | 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 65 | 公募・委託 | - |
| 4 | santec株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 54 | 公募・委託 | - |
| 5 | 三菱電機株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 52 | 公募・委託 | - |
| 6 | 日本電気通信システム株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 50 | 公募・委託 | - |
| 7 | 日本アイ・ピー・エム株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 48 | 公募・委託 | - |
| 8 | ルネサスエレクトロニクス株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 40 | 公募・委託 | - |
| 9 | 国立大学法人大阪大学 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 37 | 公募・委託 | - |
| 10 | 沖電気工業株式会社 | 総務省と委託研究開発契約の締結、実施計画書に基づく研究の実施、成果の発表、実績報告書の提出 | 35 | 公募・委託 | - |

B.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-----|-------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 個人A | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.16 | - | - |
| 2 | 個人B | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.14 | - | - |
| 3 | 個人C | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.13 | - | - |
| 4 | 個人D | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.11 | - | - |
| 5 | 個人E | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.10 | - | - |
| 6 | 個人F | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.08 | - | - |
| 7 | 個人G | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.08 | - | - |
| 8 | 個人H | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.07 | - | - |
| 9 | 個人I | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.04 | - | - |
| 10 | 個人J | 書面評価の実施、評価委員会の出席等 | 0.03 | - | - |

C.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 | 入札者数 | 落札率 |
|---|-------------------------------|------------------------------------|-----|------|------|
| 1 | (株)インターナショナルランゲージアンドカルチャーセンター | PD・PO会議の運営、課題の管理、公募の受付支援、評価委員会の運営等 | 6 | 1 | 94.3 |

D.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 | 入札者数 | 落札率 |
|---|-------------|---|-----|------|------|
| 1 | 新日本有限責任監査法人 | 事前経理検査の内容を踏まえた実績報告書の経理検査、不適切な執行実績の指摘、検査結果報告書の作成 | 0.6 | 2 | 96.0 |

E.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------|---|-----|------|------|
| 1 | 優成監査法人 | 実績報告書(案)に基づく実地での事前経理検査、不適切な執行実績の指摘、検査報告書の作成 | 2 | 2 | 77.7 |

F.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 | 入札者数 | 落札率 |
|---|-------|---------|------|------|-----|
| 1 | 総務省職員 | 運営に係る旅費 | 0.02 | - | - |